

たてばやし

第222号

市議会だより

編集：館林市議会報編集委員会

12月 定例会

館林市個人情報の保護に関する
法律施行条例など
23議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし …………… 2～4ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 … 5ページ
- 一般質問（10人） …………… 6～11ページ
- 常任委員会の審査報告 ……… 12ページ

出初式（令和5年1月7日）

市民の皆さまへお願い♥
手洗いや咳エチケットを徹底し
引き続き「3密」を避けるように
してください。

新型コロナウイルス感染症情報はこちら↑



館林市議会ホームページ

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>



本会議のあらまし

令和4年館林市議会第4回定例会は、12月2日から15日までの14日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は追加議案も含め24件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決されました。

その他、議員提出議案1件、請願1件の審議が行われました。

人事案件

▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

Ⅱ人権擁護委員の森田恵美子さん（加法師町）の任期が、令和5年3月31日をもって満了となることから、

後任に上山晴美さん（松原二丁目）を推薦したいとして、

人権擁護委員法の規定により、議会に対し意見を求められたもので、推薦につき全員一致で同意されました。

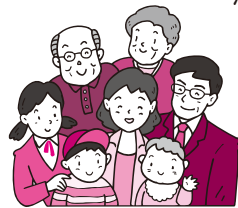
▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

Ⅱ人権擁護委員の大拙輝一さん（細内町）の任期が、

令和5年3月31日をもって満了となるが、再推薦したいとして、

人権擁護委員法の規定により、議会に対し意見を求められたもので、

推薦につき全員一致で同意されました。



条例の制定

▽館林市個人情報保護の保護に関する法律施行条例Ⅱデジタル社会の形成を図るための

関係法律の整備に関する法律の施行により、個人情報

報の保護に関する法律の一部が改正されることに伴い、

従来、国の行政機関、独立行政法人等、地方公共団体、

民間事業者等について、それぞれ分かれていた個人情報

報に関する規律が、令和5年4月1日から「個人情報

の保護に関する法律」に統合され、新たな個人情報保

護制度の運用が始まることにより、同制度に対応する

ための規定を整備するため、本条例を制定しようとする

もので、全員一致で可決されました。

▽館林市個人情報保護審査会条例Ⅱデジタル社会の形

成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に

より、個人情報の保護に関する法律の一部が改正され

ることに伴い、館林市個人情報保護の保護に関する法律施

行条例の制定及び館林市個人情報保護条例の廃止にあ

わせて、新たに個人情報に係る審査請求について調査

審議等する附属機関を設置するため、本条例を制定し

ようとするもので、全員一

致で可決されました。

▽個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係

条例の整備に関する条例Ⅱデジタル社会の形成を図る

ための関係法律の整備に関する法律の施行により、個人

情報保護に関する法律の一部が改正されることに伴い、

関係条例の一部を改正し、文言の整理、規定の整備などを行うもので、全

員一致で可決されました。

▽地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関

係条例の整備に関する条例Ⅱ地方公務員法の一部を改

正する法律が施行されることに伴い、関係条例において

所要の改正を行うもので、内容は、地方公務員法にお

いて、地方公務員の定年は国家公務員の定年を基準と

して条例で定めることとされてきているが、国家公務員

法の定年が「65歳」まで段階的に引き上げられること

となったことを踏まえ、本市職員の定年を令和5年度か

ら令和13年度にかけて「65

歳」まで段階的に引き上げるなど、国家公務員と同様の

定年延長等の措置を講ずるため、また、整備対象条

例として、13の条例の一部改正と、1つの条例を廃止

するもので、全員一致で可決されました。

条例の改正

▽館林市職員の退職手当に関する条例の一部を改正す

る条例Ⅱ国家公務員の退職手当の取扱いに準じ、非常

勤職員に対する退職手当の支給の適用要件を緩和する

ため、本条例の一部を改正しようとするもので、全

員一致で可決されました。

▽館林市基金条例の一部を改正する条例Ⅱ本市が内閣

府から認定を受けた、館林市まち・ひと・しごと創生

推進計画に掲げる事業について、企業からの寄付金を

同事業の財源として活用することができるよう、本

条例に新たに企業版ふるさと納税基金を設置するため、

本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で

可決されました。

▽館林市立学校設置条例の一部を改正する条例Ⅱ令和5年4月から館林市立北こども園及び東こども園を設置するに当たり、館林市立北幼稚園及び東幼稚園の名称をそれぞれ、館林市立北こども園及び東こども園に変更するとともに、北こども園に統合する館林市立長良保育園を廃止するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

除するなど関連する規定を整備するほか、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例Ⅱサイクリングターミナルの利用再開に当たり、平成4年に制定された本条例の事業内容、使用料等の見直しを図るもので、まず、当該施設の設置目的において、自転車の貸し出しなどのサイクリングに特化した事業運営を必須条件としな



追加議案

サイクリングターミナル南側

いようにするため、また、これまで規則で定めていた施設の休館日を通年の開館として本条例に定め、指定管理者が施設を運営した場合に、年末年始も営業可能とするため、さらに、当該施設の利用料金を、別表に定める額を限度として、指定管理者が季節や繁閑などに応じ、柔軟な料金設定ができるようにするため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市特別職の職員の特例に関する条例Ⅱ国家公務員及び群馬県職員の給与改定を踏まえ、本市一般職の職員の給与月額を初任給及び若年層に重点を置いて、令和4年4月1日に遡及して平均0・3%引上げるものとし、また、令和4年12月期に支給する勤勉手当の支給月数を0・10月分引上げ、令和5年度以降については、6月期と12月期の勤勉手当の支給月数が均等になるよう配分するほか、任期付職員についても国家公務員及び群馬県職員の例により所要の改正をするため、

その他の議案

に当たり、不用となる2路線及び起終点の変更となる4路線を廃止するため、道路法第10条の規定により、議会に対し議決を求められ

たもので、全員一致で可決されました。

▽市道2077号線ほか3路線の路線認定についてⅡ館林北部第四工業団地造成に当たり、起終点の変更となる4路線を認定するため、道路法第8条の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽市道8505号線の路線認定についてⅡ江川橋の架替えに伴い、新設される路線を新たに市道8505号線として認定するため、道路法第8条の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

専決処分

▽専決処分の承認を求めることについて(令和4年度館林市一般会計補正予算(第5号))Ⅱ電力・ガス・

食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得者へ給付金の支給を行う、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業を実施するため、歳入歳出予算に4億2606万円を追加した補正予算の専決処分について、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

補正予算

▽令和4年度館林市一般会計補正予算(第7号) Ⅱ

国県支出金の内示、寄附金の受入れに伴う予算化、エネルギー価格高騰の影響に伴う光熱水費の追加、また、当面予算措置を要する経費について補正するため、8億6126万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ320億1045万3000円とするもので、全員一致で可決されました。

00円を追加した補正予算の専決処分について、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

▽令和4年度館林市一般会計補正予算(第8号) Ⅱ

職員の給与改定、退職手当の追加、人事異動に伴う職員給与の組替えなどにより、2887万4000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ319億8157万9000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和4年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) Ⅱ

職員給与改定、人事異動に伴う職員給与の組替えなどによる職員人件費の補正のため、1028万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ71億1712万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和4年度館林市下水道事業会計補正予算(第1号) Ⅱ

職員給与改定、人事異動に伴う職員給与の組替えなどによる職員人件費の補正のため、収益的収支予算において、118万7000円を追加し、13億8169万円とし、資本的支出予算においては、31万7000円を追加し、12億7432万1000円とするもので、全員一致で可決されました。

追加議案

追加議案

追加議案



マンホールの蓋

議員提出議案

実現のため人員増と処遇改善を求める請願書Ⅱ新型コロナウイルス感染症の拡大による「医療崩壊」や「介護崩壊」の原因となった医療や介護職員の人手不足の解消のため、また、自然災害や新たな感染症に備えるため、その対策の中心となる公立・公的病院や保健所の拡充など機能強化を強く求めるため、「医師・看護師・介護職員などの配置基準の抜本的な見直しによる大幅増員と安定した人員確保のためのケア労働者の賃上げを支援すること」「医療や介護現場における夜勤交代制労働に関わる労働環境を抜本的に改善すること」「新たな感染症や災害対策に備えるため、公立・公的病院の拡充・強化や保健所の増設などの公衆衛生体制を拡充すること」「患者・利用者の負担を軽減すること」以上の4つの請願項目について、国に対する意見書を決議してほしいというもので、採決の結果、賛成少数により不採択となりました。

館林市議会個人情報保護に関する条例Ⅱデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、個人情報の保護に関する法律の一部が改正されることに伴い、議会独自で個人情報保護に関する条例を設ける必要が生じたことから、本条例を制定しようとするもので、全員一致で可決されました。

請願の審議結果

▽安全・安心の医療・介護

実現のため人員増と処遇改善を求める請願書Ⅱ新型コロナウイルス感染症の拡大による「医療崩壊」や「介護崩壊」の原因となった医療や介護職員の人手不足の解消のため、また、自然災害や新たな感染症に備えるため、その対策の中心となる公立・公的病院や保健所の拡充など機能強化を強く求めるため、「医師・看護師・介護職員などの配置基準の抜本的な見直しによる大幅増員と安定した人員確保のためのケア労働者の賃上げを支援すること」「医療や介護現場における夜勤交代制労働に関わる労働環境を抜本的に改善すること」「新たな感染症や災害対策に備えるため、公立・公的病院の拡充・強化や保健所の増設などの公衆衛生体制を拡充すること」「患者・利用者の負担を軽減すること」以上の4つの請願項目について、国に対する意見書を決議してほしいというもので、採決の結果、賛成少数により不採択となりました。

議員個人の賛否結果一覧表（第4回定例会）

議案等名	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
		小林但弥	池森のり子	飯島一志	岡野陽子	堀口さく枝	岩上博志	野本泰生	田辺純子	柴田信	平井玲子	川村幸人	渋谷理津子	権田昌弘	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	推薦につき同意
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	推薦につき同意
議案第52号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度館林市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	承認
議案第53号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度館林市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	承認
議案第54号	館林市個人情報の保護に関する法律施行条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	館林市個人情報保護審査会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第57号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号	館林市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	館林市基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号	館林市立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第61号	館林市福祉医療費助成条例及び館林市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	館林市サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号	市道2077号線ほか5路線の路線廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	市道2077号線ほか3路線の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第65号	市道8505号線の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号	令和4年度館林市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号	館林市職員の給与に関する条例及び館林市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号	館林市特別職の職員の期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—	○	●	○	○	○	原案可決
議案第69号	館林市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	令和4年度館林市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第71号	令和4年度館林市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第72号	令和4年度館林市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号	令和4年度館林市下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
議員提案第2号	館林市議会個人情報の保護に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
請願第1号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願書	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	—	○	○	●	●	●	不採択

※権田昌弘議長は採決に加わりませんので「—」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

市政を問う !!

12月6日

飯島 一志 議員 (7 ページ)

- 大島地区のほ場整備事業と産業団地造成について
- 空き家バンクについて

平井 玲子 議員 (7 ページ)

- 子育て支援について
- 選挙の期日前投票宣誓書について

池森 のり子 議員 (8 ページ)

- 身体障がい者の相談体制の充実について
- 観光施策の推進と日本遺産の活用について

田辺 純子 議員 (8 ページ)

- 学校給食について

堀口 きく枝 議員 (9 ページ)

- タクシー券の一本化について
- 带状疱疹ワクチンの公費助成について

12月7日

柴田 信 議員 (9 ページ)

- 本市の多文化共生及び日本語教育推進法の現在の状況について
- 本市において現在進めている農業支援等について

斉藤 貢一 議員 (10 ページ)

- コロナ禍における地域活性化について

篠木 正明 議員 (10 ページ)

- 職員の定員管理と職員数、会計年度任用職員について

岩上 博志 議員 (11 ページ)

- 中学校運動部活動の地域移行について
- 本市小中学校における1人1端末環境(タブレット学習)の取り組みについて

吉野 高史 議員 (11 ページ)

- 市長就任から1年7か月が経過したが、見えてきた多くの課題や考え方、財政運営面等の方向性について

一般質問

今定例会における一般質問は、12月6日・7日の2日間にわたり行われ、10人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をいただきました。

内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

※一般質問通告書の質問事項を掲載

スマートフォンやタブレットからも視聴できます!

市議会のHPをぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html> 市議会トップページ➔



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は、次のページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。

会議録の検索はこちら➔

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※12月定例会の会議録は、3月上旬に掲載の予定です。





大島地区のほ場整備・産業団地と空き家バンクについて

飯島 一志 議員



質問 ほ場整備事業決定後から現時点までの進捗状況について伺います。

答弁 耕作者を中心とした土地改良準備委員会を立ち上げて、ほ場整備後の営農計画策定を進めているところです。

質問 今後のスケジュールについて伺います。

答弁 令和6年度には、完成の青写真となる事業計画書を作成し、令和7年度から12年度までの6年間を事業期間として、また、そのうち令和8年度から11年度までの4年間を工事期間として予定しています。

質問 いつ頃、産業団地の造成が始まるのか、今後の

スケジュールについて伺います。

答弁 現在の予定となりますが、令和6年度の早い段階で、市街化区域への編入を予定し、その後、事業用地の取得、順調に進捗しますと、令和7年度に造成工事を開始、7年度末には、造成工事が完了したエリアから順次分譲の開始ができることを目指して、事業を進めているところです。

質問 現在の本市の空き家の状況について伺います。



実際の空き家の様子

答弁 令和2年度の調査時には、1376戸となっております。地区別では多い順に、六郷地区が471戸、館林地区が385戸と続き、最も少ないのが三野谷地区の30戸で、大島地区は35戸となっております。

質問 空き家の利活用を増加させるための今後の取組について伺います。

答弁 所有者や関係団体に対する働きかけが必要であると考えています。今年度は、空き家見学会を初めて実施しました。今後は、不動産業者との連携、SNSを活用した空き家バンクの周知、家財処分に係る補助金といった空き家バンク登録を促すための新規事業など、様々な取組が必要と考えています。

子育て支援と

期日前投票宣誓書について



平井 玲子 議員



子育て支援について

質問 妊娠期・産前の支援についてお尋ねします。

答弁 本市の最大の特徴として、妊娠8か月頃の全妊婦に対して家庭訪問を実施し、困り事などの相談にもていねいに応じています。

質問 出産・子育て応援交付金事業を実施するに当た

り課題をお尋ねします。

答弁 面談時間や業務量の増加が予想され、マンパワーの不足が大きな課題であると認識しています。



要望 子育て世代包括支援センターの管轄を分割して事業を実施することも考えてほしいと思います。また、北九州市は、アプリから紙の母子手帳の交付申請ができるようになりました。スマホで妊娠届とアンケートを記入・提出でき、市役所では面談だけで申請が済むかたちです。本市には「ぼんちゃん」の予防接種・子育てナビ」がありますので、

他の自治体の事例も参考にしながら活用の幅を広げて

いくよう要望します。

期日前投票宣誓書について

質問 期日前投票が増えている要因をどのように考えているのか、お尋ねします。

答弁 期日前投票の積極的な活用をお願い、民間の取組による選挙割を利用する方の増加、アゼリアモールでの期日前投票所の増設によって期日前投票の割合が高まったと考えています。

質問 現行のハガキ形態を生かして入場券の裏面に宣誓書を印刷し、事前に記入

できる宣誓書付き入場券の導入についての考えは。

答弁 ハガキに掲載できるスペースやシステム改修費などのハードルがありましたが、今年に入り選挙人名簿の管理システムについて標準仕様書が総務省より示され、入場券を全国で統一化することになります。この統一様式の中に裏面が宣誓書となっているものもあり、この機会に合わせて宣誓書を併記した入場券に変更していきたいと考えます。



池森 のり子 議員

身体障がい者の相談体制と 観光施策・日本遺産について問う

質問 本市に設置されている身体障がい者相談員について伺います。

答弁 本市に設置されている身体障がい者相談員について伺います。相談員への相談がない状態が続いたため、令和2年度で廃止となりました。

質問 障がい者本人や家族からの相談に応じるため、平成24年度から9年間実施して

答弁 障がい者本人や家族からの相談に応じるため、平成24年度から9年間実施して

いましたが、その後、事業者による相談体制が整備されたことから、障がい者相

質問 相談体制の充実に向けた今後の方針について伺います。

望しています。また、市の窓口でも相談室を使用するなど相談者に寄り添ったていねいな対応を行います。

「ツアー」を旅行会社向けに企画し、広域的な誘客連携の提案を行っています。

ありますが、考えを伺います。



田辺 純子 議員

学校給食費の完全無料化と オーガニック化について

質問 近隣自治体の無料化の現状を伺います。

答弁 近隣自治体の無料化の現状を伺います。

質問 東毛地域では、来年度の予定も含め完全無料化が太田市、みどり市、板倉町となり、その他ほとんどの自治体が給食費の一部無料化に取り組んでいます。

答弁 東毛地域では、来年度の予定も含め完全無料化が太田市、みどり市、板倉町となり、その他ほとんどの自治体が給食費の一部無料化に取り組んでいます。

質問 学校給食法第2条に7つの目標が定められてお

答弁 学校給食法第2条に7つの目標が定められてお

完全無料化に向けての検討と今後の取組を伺います。

校給食のオーガニック化について、本市の捉え方や現状を伺います。

来の課題です。そこで、市長に、学校給食費の無料化やオーガニック食材の導入

答弁 完全無料化や第2子以降無料化、第2子半額・第3子以降無料化などの試算を行っています。今後、他市町村の情報収集に努めるとともに、動向を注視したいと考えています。

質問 オーガニック化については、解決しなければならぬ課題が多く、実現は難しい現状にあります。

答弁 オーガニック化については、解決しなければならぬ課題が多く、実現は難しい現状にあります。

質問 近隣自治体の状況、若い子育て家庭の状況等を見ると、選ばれる自治体になるためにも、完全無料化を前に進めていかななくては強く思います。次に、学

質問 農水省は持続可能な食料システムの構築に向けて、「みどりの食料システム戦略」を策定し、有機農業を奨励しています。これを進めることは、子どもたちの健康と食の安全を守る上でも、これからの大事な未

ですが、民間所有の構成文化財につきましては、案内板設置のニーズを調査しながら、必要性が高く、民間から設置場所の提供を得られたものから、順次整備を検討していきます。

でも、これからの大事な未

と考えています。



タクシー券の一本化と 带状疱疹ワクチンの公費助成について

堀口 きく枝 議員



タクシー券の一本化

質問 3種類のタクシー券

について、どのような声があるのか、お尋ねします。

答弁 高齢者通院等タク

シー券には、補助金額の増加、枚数の拡充、複数枚利用の要望が、免許返納タクシー券には、一度限りでなく継続的な支援の要望がある。

り、いきいきタクシー券には、特に要望がない状況です。

質問 タクシー券の交付枚

数を増やす考えはないか、お尋ねします。

答弁 高齢者通院等タクシ

ー券においては、引き続き実証実験による分析を行い、交付枚数の在り方について検討を深めていきます。

本市の多文化共生の状況と 農業支援等について

柴田 信議員



質問 本市の小中学校にお

いて、今後、日本語と外国語の両方を理解し、学習指導ができる教員を拡充する考えについて伺います。

答弁 外国語と日本語の両

方を理解する補助教員については、日本語以外を用いて指導ができることから、児童生徒にとって大きな支

援になると考えています。

現在は、2名の日本語指導助手がスペイン語、ポルトガル語、中国語を活用しながら、指導にあたっています。

今後、関係機関等と連携

するとともに、県教育委員会との情報交換も図りながら、アジア圏の言語に対応できる人材の積極的な任

質問 福祉向上を目指して

いく中で、3種類のタクシー券を一本化していく考えはあるか、お尋ねします。



答弁 安全安心課、社会福

祉課、高齢者支援課、子育て支援課の複数の部署でそれぞれ担当している煩雑なタクシー券制度の集約一元化を図る目的で、タクシー助成制度検討委員会を設置

し検討を進めています。

要望 市民の皆様のために

タクシー券の交付枚数の増加と一本化を推進するよう要望します。

帯状疱疹ワクチンの公費助成について

質問 带状疱疹は加齢、疲

労、ストレスなど免疫力低下が原因で特に50歳から80歳までの3人に1人が発症すると言われています。带状疱疹ワクチンの内容についてお尋ねします。

答弁 日本では2種類の使

用等、支援体制の充実に向けて努めていきたいと考えています。

質問 本市の農業における

降ひょう、台風などの自然災害による被害やその後の対応状況、また、今後の支援対策等について伺います。

答弁 今年5月27日及び

6月2日の降ひょうによる本市の被害総額は2億2480万5000円で、そのうち、農作物の被害金額は2億84万5000円、被害面積は225.4ヘクター

用が承認されており、1つ

は1回接種の水痘ワクチン

で、費用は約1万円前後、もう1つは2回接種が必要な带状疱疹ワクチンで、費用は1回当たり約2万3000円前後となります。

要望 带状疱疹ワクチンは

広く接種を行うことで、带状疱疹及び関連死亡、合併症を減少させるとともに、医療費の抑制にもつながります。带状疱疹ワクチンへの助成とワクチン接種の周知の推進を要望します。

とところです。今後は、自然災害の発生に備え、本市で加入助成を行っている収入

保険や各種共済等の制度への理解を深めていただけるよう、周知及び啓発を行っていきたくと考えています。





地域コミュニティと 奨学金制度について

齊藤 貢一 議員

質問 地域コミュニティにおいて、行政区や諸団体の弱体化が進んでいるが、支援策は。

答弁 市当局との連携を含め、デジタル等の新しい技術を活用した体制づくりが重要であり、これらの支援体制を強化し、地域コミュニティ活動の推進につながる。

質問 軽減策は。

答弁 地域と行政が一緒に考える仕組みづくりの研究や、行政区に依頼している各種委員等の推薦につきましても地域の負担軽減を念頭に改善に取り組みます。

質問 制限の多い公民館制度から、コミュニティセンターへの移行の考えは。

答弁 施設利用の幅が広がり、より利用者のニーズに応えられると思うので、中長期的な見通しを持って研究したいと考えています。

質問 本市奨学金制度では、貸与要件が不明確であり、また、決定時期が遅いと感

答弁 昨年より、進学準備に配慮し、周知時期、募

質問 貸与要件が不明確であり、また、決定時期が遅いと感

答弁 昨年より、進学準備に配慮し、周知時期、募

質問 貸与要件が不明確であり、また、決定時期が遅いと感

答弁 昨年より、進学準備に配慮し、周知時期、募



職員の定員管理と職員数、 会計年度任用職員について

篠木 正明 議員

質問 集中改革プランで定員管理の職員定数を645人としましたが、職員数はそのように推移してきたのですか。

答弁 集中改革プラン後、最も多い職員数は、平成23年度の640人で、最も少ないのは令和4年度の624人となります。

質問 一度も定員に達したことがないので、本気で定員管理の職員数にする気はあるのですか。

答弁 定数の645人を目指して努めてきました。定員の職員数にするため、どんなことを行ってきたのですか。

集要項の配布時期を早めました。貸与の前倒しについては、受験生に寄り添いながら研究していきます。

質問 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案してきました。今年度から、条件付きで板倉町も給付型の奨学金を始めたと思いま

答弁 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案してきました。今年度から、条件付きで板倉町も給付型の奨学金を始めたと思いま

質問 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

答弁 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

質問 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

答弁 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

質問 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

答弁 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

質問 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

答弁 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

質問 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

答弁 私は以前から、給付型奨学金制度の創設を提案

来年度の予算化に向けて調査研究し、関係部局と協議を行いました。財源等の課題もあり、予算要求を見送った次第です。

質問 ぜひ予算要望していただき、給付金制度が実現できるように働きかけてもら

答弁 今後も関係部局と調整を図りながら、様々な観点から研究していくとともに、奨学金基金の活用についても可能性を探っていきたく

質問 ぜひ予算要望していただき、給付金制度が実現

答弁 今後も関係部局と調整を図りながら、様々な観点から研究していくとともに、奨学金基金の活用についても可能性を探っていきたく

質問 ぜひ予算要望していただき、給付金制度が実現

答弁 今後も関係部局と調整を図りながら、様々な観点から研究していくとともに、奨学金基金の活用についても可能性を探っていきたく

質問 ぜひ予算要望していただき、給付金制度が実現

答弁 今後も関係部局と調整を図りながら、様々な観点から研究していくとともに、奨学金基金の活用についても可能性を探っていきたく

質問 ぜひ予算要望していただき、給付金制度が実現

答弁 今後も関係部局と調整を図りながら、様々な観点から研究していくとともに、奨学金基金の活用についても可能性を探っていきたく

質問 ぜひ予算要望していただき、給付金制度が実現

答弁 今後も関係部局と調整を図りながら、様々な観点から研究していくとともに、奨学金基金の活用についても可能性を探っていきたく



中学校部活動の地域移行と 1人1端末環境の取組について

岩上 博志 議員

部活動の地域移行について

質問 部活動地域移行の進捗状況は、どのようになっているのか伺います。

答弁 9月に、市内中学校部活動顧問及び副顧問を対象に意識調査を実施し、実態把握に努めました。また、11月15日に、市内中学校関係職員及び市教委関係職員

を対象に、県教委健康体育課指導主事による研修会を開催し、地域移行の意義や方向性について共通理解が図れるよう努めました。

質問 各顧問への意識調査の結果について伺います。

答弁 「休日の部活動が地域移行した際に、指導に携わりたいか」という問いに

対し、「携わりたい」が15.4%という回答となっております。指導者の確保は大きな課題の一つとなっております。

質問 指導者確保以外の課題について伺います。

答弁 大きく3点課題があり、1点目が児童生徒及び保護者等への周知を図り、理解を得ていくこと。2点目が保護者の経済的負担軽減。3点目が受皿等の環境を整備していくことです。

行財政運営について 本市の方向性について



吉野 高史 議員

質問 私が初当選した時に先輩議員から「最も大切な仕事は予算案をしっかりと審議し市民生活が困らないように通すこと」「一般質問は議員として大切な仕事」と教えられた。初当選した皆さんは「正々どんどんと一般質問を行い、市民への情報発信をしてください」

經常収支比率の意味合いは。 **答弁** 市税や地方交付税などの収入と固定的な経費の

質問 比率は毎年97〜98%。県内35自治体中30位前後が続いているが、原因は。

答弁 高齢化等による扶助費の増加、公共施設の維持管理費等が要因です。

質問 文化会館は1200万円の売上に対し1億2800万円、三の丸芸術ホールは740万円に対し4500万円、田山花袋記念館に至っては36万円に対し1200万円かかっている。これをどう改善するのか。

答弁 集客を増やせるよう様々な検討をしています。

質問 導入から1年半が経

過したが、1人1端末環境の現状について伺います。

答弁 端末の活用場面としては、児童生徒への教材提示だけにとどまらず、各自の記述を教師に提出すること、全員の意見を画面上で確認して考えを深めたり、遠隔地にいるゲストティーチャーとオンラインで意見交流したりするなど多岐にわたっています。

質問 小学校1、2年生に1人1端末が配備されていないことによるデメリット

について伺います。

答弁 プログラミング学習が必修化されたことから、必要となるICT活用スキルは、早い段階から取り組ませることによって児童に身につけやすくなると感じています。低学年児童にも配備できるよう努力していきたいと考えています。

要望 コロナ禍で学級閉鎖となった際に、オンライン学習が行えるというメリットもあるのに、一刻も早い端末配備を要望します。

答弁 大変な質問と受け止めています。今に始まったことではなく、努力をしていきます。

要望 皆さんの行財政運営のDNAを一刀両断する本当の行政改革を要望する。

質問 選挙公約のチェンジ1〜5の進捗状況の答弁があったが、前市長がレールを敷いた内容だ。チェンジがブーメランのように自分に返ってこないためには。

答弁 市民ニーズの多様化に対応していきます。

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は、「館林市個人情報保護の保護に関する法律施行条例」「館林市個人情報保護審査会条例」「地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」「館林市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」「館林市基金条例の一部を改正する条例」の議案5件で、採決の結果、5議案とも全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市民福祉

付託された案件は、議案2件と請願1件で、議案については、「館林市立学校設置条例の一部を改正する条例」「館林市福祉医療費助成条例及び館林市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例」で、採決の結果は、

2議案とも全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、「安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願書」の審査では、保健福祉部からの参考意見の陳述がなされた後に審査に入り、委員から、「費用の全てを国の負担で行うべきとしていることは、現在の経済情勢から見ると、非常に厳しいうえに、保険料などの負担軽減をも求めていることは財源の裏付けがないことから、不採択すべき」との意見が、また、「現場は大変な状況にあるにも関わらず、国の予算はOECDの平均よりかなり低い現状であり、そのような国の予算を抜本的に改善する必要があることや、現場の大変さを理解し、思いを酌み取り、支援する意見を国にあげることが、どれほど現場の励みになるかを痛感していることから

採択すべき」との意見がなされ、採決の結果、賛成少数により不採択すべきものと議決されました。

経済建設

「館林市サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例」「市道2077号線ほか5路線の路線廃止について」「市道2077号線ほか3路線の路線認定について」「市道8505号線の路線認定について」の議案4件が付託され、4議案とも、まず、当局から説明を受け、それぞれ現地調査を行った後に審査に入り、採決の結果、4議案とも全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。



市道 8505 号線の現地調査

議会傍聴者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、傍聴に来られる皆さまにおかれましては、マスクの着用や傍聴席入口において、消毒液による手指の消毒など、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

【3月定例会の予定】

- 3月 3日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 6日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 7日(火)・8日(水) 本会議＝一般質問
- 9日(木)・10日(金) 委員会＝常任委員会（総務文教・市民福祉・経済建設）
- 14日(火)・15日(水)・16日(木) 委員会＝予算特別委員会
- 22日(水) 本会議＝表決

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、3月1日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。

(<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒市議会をクリックしてお入りください。)